

学校だより



ひがし

令和4年4月11日発行
第1号
伊豆市立修善寺東小学校
TEL0558-72-0420

- ◆学校教育目標「よく学ぶ たくましく心やさしい 東っ子」
- ◆重点目標「自分の考えをもち、表現しよう」「人を大切にしよう」「目標に向かって、挑戦しよう」

令和4年度がスタートしました

伊豆市立修善寺東小学校校長 堀江 健司

4月8日に、13名の新生を迎え、全校82名でスタートしました。入学及び進級おめでとうございます。どの子ども目を輝かせ、やる気と希望に満ちています。この新鮮な気持ちを忘れずに、新たな学年で充実した授業や生活となることを期待しています。昨年度よりわずかに増えましたが、小規模であることに変わりありません。どのクラスも12～15人という平均した人数は、むしろ授業や行事を構成しやすい人数といえるかもしれません。少人数の弊害を軽減し、よさを生かす教育を継続していきます。

今年度も、伝統ある修善寺東小学校に勤務できますこと、光栄に思います。3年目となりました。全教職員共々、よろしくお願いします。

タイトル枠内にあるとおり、学校教育目標「よく学ぶ たくましく心やさしい 東っ子」を本年度もかかげました。10数年継続していますが、国や県などの教育指針に即した目標であり、普遍の内容でもあります。それに迫るための重点目標「自分の考えをもち、表現しよう」「人を大切にしよう」「目標に向かって、挑戦しよう」は、昨年度に続き2年目となります。一見、わかりにくく評価しにくい「見えにくい力」ですが、新しい時代を自ら切り拓いていくためには必要な力であり、見えにくい力がついてくると、知識や技能などの「見えやすい力」もついてくると言われています。

全体として、明るく素直で好感の持てる子供たちです。ルールを守り、与えられたことに粘り強く取り組む子が多いです。成長する素養も十分です。もちろん、未成熟な子供ですから、個々に課題はあるでしょう。間違いや失敗、思い通りにならないこともいっぱいあります。それぞれの個性や考え方も違います。少人数とはいえ、学校や学級という集団で、上記の目標を目指して日々かかわりあって活動していきます。そして、成長していきます。間違いや失敗があっても、やりなおしができるのが学校ですから、それを安心してできる集団を形成していきたいと強く願っています。

毎年言っていますが、教育に信頼は欠かせません。特に、学校と家庭は最良のパートナーとして、役割は違っても方向性は同一でありたいと思います。学校が信頼に足るべき教育活動を行うのは当然ですが、時に見解の相違は生じます。不明な点がありましたら、ぜひご相談ください。

また、地域に根ざした教育も継続していきます。平成27年度よりコミュニティスクールとして、地域を挙げて学校を支えていただいています。本年度は、法令に則り、学校運営協議会というものに移行していきます。ここ2年は、コロナの影響で十分な活動ができていませんが、サポーターの皆様を中心に、熱心に応援していただき、誠にありがとうございます。引き続き、よろしくお願いします。

未だにコロナの影響は変わらず、感染対策を継続して実施していきます。ご不便をおかけしますが、ご協力ください。

